

3. 救急医療相談状況

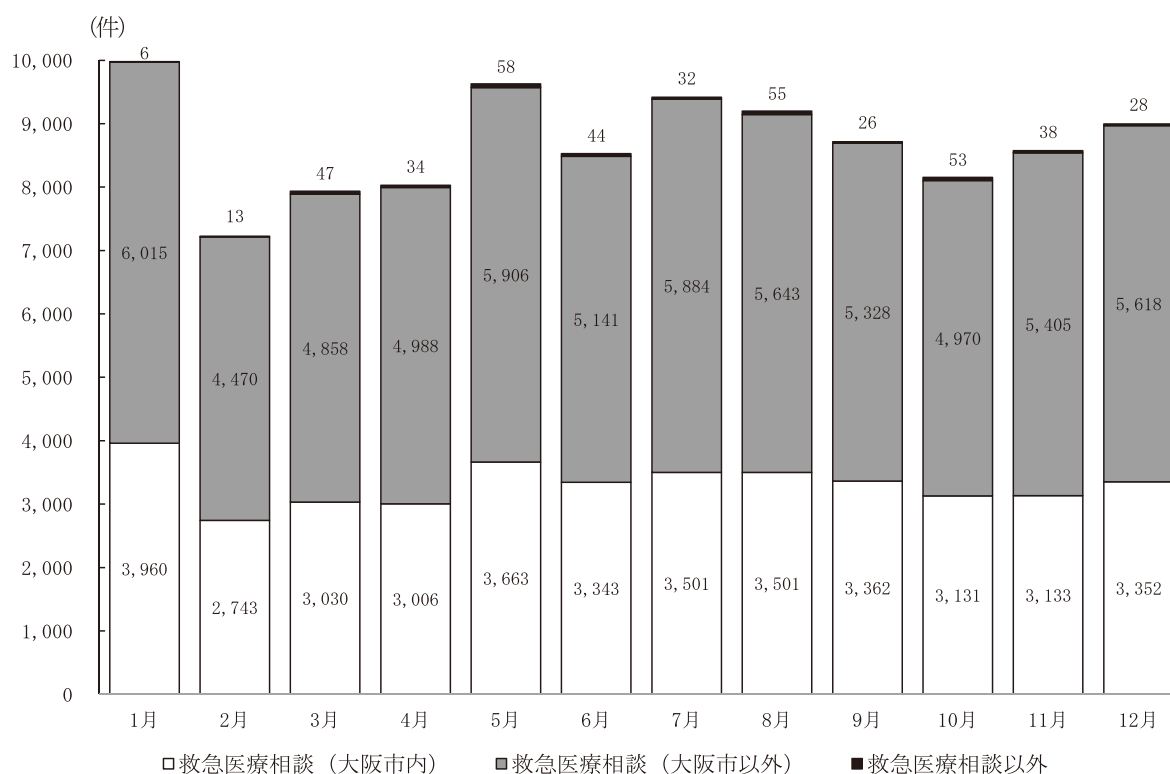
(1) 救急医療相談の月別、区域別利用状況

救急医療相談件数は1月が最も多く、続いて5月、7月の順に多くなっている。

(単位：件)

	大阪市内	大阪市以外	救急医療相談以外 (セカンドオピニオン等)	計
計	39,725	64,226	434	104,385
1月	3,960	6,015	6	9,981
2月	2,743	4,470	13	7,226
3月	3,030	4,858	47	7,935
4月	3,006	4,988	34	8,028
5月	3,663	5,906	58	9,627
6月	3,343	5,141	44	8,528
7月	3,501	5,884	32	9,417
8月	3,501	5,643	55	9,199
9月	3,362	5,328	26	8,716
10月	3,131	4,970	53	8,154
11月	3,133	5,405	38	8,576
12月	3,352	5,618	28	8,998

※合計数には、看護師による救急医療相談の結果、救急車の必要ありと判断したもの4,529件（大阪市内1,865件、大阪市以外2,663件、他府県1件）を含む。



(2) 救急医療相談の年齢別利用状況

小児（15歳未満）の相談が53,880件（51.8%）、高齢者（65歳以上）が15,785人（15.2%）となった。

年齢	件数	年齢	件数	年齢	件数
計	103,951				
0歳	12,979	20～24歳	3,308	65～69歳	3,512
1歳	12,098	25～29歳	3,849	70～74歳	3,624
2歳	6,992	30～34歳	4,445	75～79歳	3,239
3歳	5,379	35～39歳	4,433	80～84歳	2,716
4歳	4,067	40～44歳	4,555	85～89歳	1,657
5～9歳	8,938	45～49歳	3,585	90～94歳	801
10～14歳	3,427	50～54歳	2,853	95～99歳	207
15～19歳	2,420	55～59歳	2,142	100歳以上	29
		60～64歳	2,414	不明	282

(3) 救急出場した傷病者の月別傷病程度（大阪市）

救急車の必要があると判断し、救急車を出場させた人数は1,867人（大阪市内）で、そのうち緊急入院した傷病者は498人（中等症以上）であった。また、軽症者の中にはアナフィラキシーショックや心筋梗塞などでみられる症状をとらえて迅速な受診につなげ、通院加療にとどまったケースもあった。

	軽症	中等症	重症以上	不搬送	計(人)
計	1,252	493	5	117	1,867
1月	110	44	0	12	166
2月	67	39	0	8	114
3月	95	31	1	14	141
4月	100	37	0	10	147
5月	115	44	0	7	166
6月	111	43	1	11	166
7月	111	43	2	22	178
8月	116	44	0	10	170
9月	107	49	0	5	161
10月	99	37	0	8	144
11月	103	36	0	4	143
12月	118	46	1	6	171

※3人同時搬送事案1件、2人同時搬送1件

